

平成 27 年度日本水産学会中国四国支部例会シンポジウム

## 「瀬戸内海の環境を考える」

平成 27 年 10 月 25 日 於 香川大学農学部 DS304 教室

(9:00~12:00)

瀬戸内海は 2014 年に国立公園制定 80 周年を迎えました。閉鎖性海域としては日本最大規模の瀬戸内海は、漁業、観光両面で非常に重要な海域として、これまで以上に重要視されてきております。そこで、今回、瀬戸内海の環境について、赤潮やごみ問題、水産資源の動態、里海としての利用など、いろいろな課題について考えてみたいと思います。

- |             |                                    |                          |
|-------------|------------------------------------|--------------------------|
| 9:00~9:05   | 趣旨説明                               | 関 伸吾 (高知大農)              |
| 9:05~9:30   | 1. 赤潮種と発生環境                        | 山口 晴生 (高知大学農)            |
| 9:30~9:55   | 2. 海底堆積ごみ回収・処理                     | 大倉 恵美 (香川県環境森林部環境管理課)    |
| 9:55~10:20  | 3. アマモとカキの里海 ー太く・長く・なめらかな物質循環に向けてー | 田中 丈裕 (NPO 法人 里海づくり研究会議) |
| 10:20~10:45 | 4. カキ筏とクロダイ                        | 海野 徹也 (広島大学大学院生物圏科学研究科)  |
| 10:45~11:10 | 5. 閉鎖循環システムについて                    | 山本 義久 (瀬戸内海水産研究所屋島庁舎)    |
| 11:10~11:40 | 総合討論                               |                          |
| 11:40~11:45 | 閉会の挨拶                              |                          |